

稲光会報

第31巻 39号

平成20年2月1日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 植竹 清宏
題字 滝口 宏

平成19年度「稲光会の日」開催

恒例の「稲光会の日」が11月18日、早大道場で開かれました。珍しい顔ぶれでは寺田洋(S60年卒)、内田陽子(H13年卒)、岩橋(旧姓)飛鷹恵美(H13年卒)各会員など会員現役ざつと50人が参加。矢口先生は所用で欠席されたが、川名監督の日頃の熱心な指導に感謝し花束を届けられた。北京オリンピックの直前とあって当部オリンピック選手第一号(ウル)出野晴信実技講師(写真)に「オリンピックへの道」と題する講演を依頼。自身の経験から



和やかながらも熱く語る出野講師

佐藤武元監督のお見舞い

佐藤武元監督が糖尿病で入院されてから早や9年、昨年も9月15日に小田急線相武台駅前の相武台病院に竹村晃会長をはじめ大勢でお見舞いに伺いました。北島栄(S46年)森居章(S47年)会員の奥様も同伴されました。佐藤元監督は大変お元気で食堂まで車イスで来られ、歓談しました。「フエシング部30年史」を見せるとご自分の若き姿がおぼろげに判り、俺も好



和やかに談笑する佐藤元監督

萩野さん逝く

萩野元平(昭和31年卒)が昨年12月、亡くなりました。現役時代は「サーブルの萩野」で鳴らした名選手。同時にヴァイオリンを弾き、タツパダンスを踊り、小説も書くという多才な人でした。卒業後、事業家としてラジエター製品やプロポリスの販売の全国展開を行なっていました。一方、昭和61年から63年までフエシング部の監督を務めるなどして母校にも貢献していただきました。享年74歳。ご冥福をお祈りします。

麻雀の会開催

12月25日に麻雀の会が金城庵近くの沢田家で開催されました。勝負はたいした波乱もなく植竹清(S39年)会員が終始リードし、優勝。しかしスタート時点で、ひと悶着あり。東南北家の回り方が左回りか右回りかで吉田美佐子さん(S24年卒)故吉田茂治(会員夫人)、植竹会員とK会員(北原会員ではありません)、M会員とに分かれ、最後は雀荘の親父さんに聞き、決着しました。まあこの程度のレベルなので、麻雀愛好家はぜひご参加下さい。

関東学連OB会 ゴルフコンペ団体戦優勝!

第14回関東学連OB会ゴルフコンペが10月4日、若洲リンクス(東京・新木場)にて10大学40名の参加で開催されました。稲光会が見事3年ぶり2度目の団体優勝。メンバーは伊藤茂秀(S33年)、北原輝久(S36年)、慶田浩一(S38年)、三浦義雄(S39年)、植竹清(S39年)会員の5名。平均年齢68歳の老人パワーが炸裂した団体優勝に加え、川名

男子エペ 全日本選手権優勝!

この快挙に稲光会の喜びが爆発しました。第60回全日本選手権大会(12月13日～16日、大分・日田市)の男子エペ団体で我が早稲田大学チームが優勝しました。「エペの早稲田」といわれた我が部の伝統を見事に復活させた現役の頑張り、稲光会では12月25日の19年度の納会を急遽祝勝会に切り替え、大学のフエシング道場に宴席を設け、文字通りの勝利の美酒を優勝カップで回し飲みするなど大いに盛り上がりました。〈関連記事2面〉

「うまい!これぞまさに勝利の美酒だ!」久々の優勝カップでの回し飲み。矢口徹也部長を皮切りに川名宏美監督、竹村晃会長、北原輝久、慶田浩一副会長、植竹清幹事長以下会員、現役ら出席者全員が次々にカップを捧げ、日本酒を口にしました。これは昭和28年、エペで初のリーグ優勝、王座も制して大学日本一の座に就いた時以来のこと。現役はもちろん、ほとんどの会員にとっても初の体験で「こんな酒が飲めて感激。現役は実によくやってくれた(竹村会長)」と目を輝かせる祝いの酒でした。

本学生を勝ち抜き、全日本制覇へとつないだのでした。部始まって以来の四冠達成。川名監督によると「エース坂は日本代表選手。あとの二人も学連のトップクラスの主力派。これだけのメンバーがそろい、しかも全てに実力を出し切った試合をやってきた。そこを高く評価したい」とのこと。実は6月30日、リーグ戦優勝と女子フルレの王座優勝の祝勝会を同じ場所で行っているのです。「シーズンに二度も祝勝会を行うというのは異例のこと。しかし「こういう嬉しい宴なら何度やってもいい。現役が良い結果を出してくればOBは奮い立つ。現役とOBの一体感が高まり、会も良い方向に向かっていく(北原副会長)」。歓談のあとの校歌斉唱も一段とオクターブが高まった祝勝会でした。



私の趣味

堀猛(昭和28年卒)



陶芸づくりに励む堀会員

週一回の陶芸教室通い

恒例の稲光会の日呼び物オークションにここ数年、堀さんの陶芸作品が出品され人気を呼んでいる。陶芸との出会いは6年前。会社をリタイアして1年後だ。毎週1回、バスで30分かけて陶芸教室へ通う。粘土をこね、ろくろを回し、彩色、そして窯で焼く。出来上がるまで2ヶ月くらいかかるという。「奥の深い世界でねえ。出来上がった作品を眺める気分は何ともいえないよ。」5年前、首の付け根にできた悪性リンパ腫で3ヶ月入院、手術。以後すぐぶる元気だという。「卒業していく現役に作品を贈っているの、今年の稲光会の日は何を作って行くか目下一生懸命考えているんだよ。」78歳。悠々自適の毎を送りながら、やっぱり現役の事、部の事を考えている。

植竹幹事長、橋本幹事、記憶、記録に残る、平成19年度納会

現役
試合結果

全日本選手権、
男女エへそろって表彰台だ

関東学生選手権、全日本学生選手権では、男女フルール、エペが表彰台にずらり…大健闘でした。

「全日本選手権」

男子エの場合、最大の難敵と思われたのは優勝の常連チーム警視庁。対戦したのは準決勝だった。スタートは両チーム、緊張感を隠せず慎重な探り合い。1〜2点差を巡っての攻防が展開された。だがリードしているのは常に早稲田。素早いフットワークと意表をつくフレンジュ攻撃。坂、池内、前田の3人が強豪相手に臆することなく勝負を挑み、リードが3点、4点と開いていく。中盤から終盤にかけて警視庁に焦りが出る。早稲田勢はそこを巧みに突いて更にリードを奪い、絵に書いたような先行逃げ切りの展開で警視庁に初勝利。決勝の対香川戦は10点以上の差をつけて圧勝した。この香川戦、相手チームに出水宏和会員(平成11年卒、高松高出身)がおり、早稲田の坂、前田も高松高の後輩という顔合わせ。道場でのフラインギングを

連想させる場面もあり、むしろ和やかな雰囲気だった。男子の活躍の陰に隠れてしまったが、女子エへも3位入賞の快挙。戸田志帆(スポーツ科学3年)、坂野友里(同2年)、広瀬千夏(同1年)の3人が一戦ごとに力をつけ、3位決定戦で男子同様香川チームを降した。表彰式では男女共に早稲田が表彰台に上る晴れがましきでした。



北原副会長、慶田副会長と女子部員で

祝 平成19年度全日本大
祝 平成19年度全日本大

「関東学生選手権、全日本学生選手権」エへ以外で目立った活躍は男子フルールの頑張り。両大会共に法大の前に屈したが、インカレの準決勝の対中大戦は圧巻。同点で迎えた最終試合。大沢三洋(スポーツ科学2年)が中大のエース千田健太(日本代表)に果敢なアタックを仕掛けてマッチポイントを奪い、決勝進出を決めたのでした。

4人がジュニア
日本代表に!

2007年度JOC杯ジュニアオリンピック大会(1月11〜14日、水戸市)で、早稲田から次の4人が日本代表選手に決まりました。4人共、4月7日〜14日にイタリア・シチリア市で開催されるジュニア世界選手権大会に出場する予定です(写真:右から寺本、北川、広瀬、澤田)。



- ◆女子フルール 寺本朋代(熊本開進高出身、教育1年)JOC杯8位(昨年9月の牧杯で優勝したポイントがあり4人の代表枠に繰り上がり)
- ◆男子フルール 北川宗一郎(埼玉栄高出身、スポーツ科学1年)JOC杯2位
- ◆女子エへ 広瀬千夏(高知・追手前高出身、スポーツ1年)JOC杯2位
- ◆男子サーブル 澤田昂太郎(青森高出身、理工2年)JOC杯4位

●関東学生選手権大会 (10月22日〜26日、駒沢屋内球技場)

<団体戦>
男子 フルール 2位、エペ 優勝、サーブル ベスト8
女子 フルール 優勝、エペ 3位、サーブル ベスト8

<個人戦>
坂 俊甫 (一文 4) 男子エ ペ 優勝
北川 宗一郎 (スポーツ1) 男子フルール 2位
松木 瞳 (スポーツ4) 女子サーブル 2位
前田 雄亮 (政経 3) 男子エ ペ 3位
桑崎 純志帆 (教育 4) 男子エ ペ 4位
戸田 朋代 (スポーツ3) 女子フルール 4位
寺本 友里 (教育 1) 女子フルール 5位
坂野 友里 (スポーツ2) 女子エ ペ 5位
佐藤 夏樹 (教育 1) 男子エ ペ 6位
松木 瞳 (スポーツ4) 女子フルール 7位

●全日本学生選手権大会 (11月12日〜16日、駒沢屋内球技場)

<団体戦>
男子 フルール 2位、エペ 優勝、サーブル ベスト8
女子 フルール 3位、エペ 2位、サーブル 1回戦

<個人戦>
坂 俊甫 (一文 4) 男子エ ペ 2位
坂野 友里 (スポーツ2) 女子エ ペ 2位
北川 宗一郎 (スポーツ1) 男子フルール 4位
松木 瞳 (スポーツ4) 女子フルール 5位
戸田 志帆 (スポーツ3) 女子フルール 6位
池内 祥 (スポーツ3) 男子エ ペ 8位

●第60回早慶定期戦 (12月24日、慶大日吉キャンパス地下体育館)

男子フルール 早稲田 45-37 慶応
エペ 早稲田 45-33 慶応
サーブル 早稲田 45-37 慶応
(早稲田は13連勝、通算42勝18敗)

女子フルール 早稲田 40-31 慶応
エペ 早稲田 45-35 慶応

●全日本選手権大会 (12月13日〜16日、大分・日田市総合体育館)

<団体戦>男子 フルール ベスト8、エペ 優勝
女子 エ ペ 3位

<個人戦>坂 俊甫(一文4) 男子エペ 2位

●JOC杯ジュニアオリンピックカップ (11月11日〜14日、茨城・青柳公園市民体育館)

北川 宗一郎 (スポーツ1) 男子フルール 2位 (※)
弘瀬 千夏 (スポーツ1) 女子エペ 2位 (※)
澤田 昂太郎 (理工 2) 男子サーブル 4位 (※)
山口 友生 (教育 1) 男子サーブル 6位
佐藤 夏樹 (教育 1) 男子エペ 7位
寺本 朋代 (教育 1) 女子フルール 8位 (※)

※ジュニア日本代表に決定

合宿へようこそ!

2008年度の現役春季合宿は以下の通りです。

- 合宿期間 08年3月16日(日)〜23日(日)
- 宿舎 ニュー福寿荘
〒401-0502
山梨県山中湖平野140
TEL:055-65-8301
- 練習日程 出発日 3月16日(日)
前半練習日 3月16日(日)〜18日(火)
中 日 3月19日(水)
後半練習日 3月20日(木)〜22日(土)
帰 京 3月23日(日)
- 合宿担当 戸田 志帆(スポーツ3)
080-5530-2384

※尚、合宿には毎回、稲光会から20万円の現役補助金が支払われています(写真)。



試合の応援に行こう!

春季大会の予定です

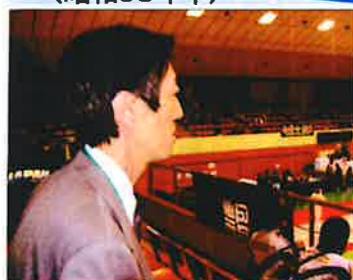
- 立命館定期戦(早大フェンシング道場) 3月28日(金)
- 2008年度リーグ戦(※) 5月1日(木)〜6日(金)
※{ 5月1、2日:駒沢屋内球技場
5月3〜6日:東京農大体育館
- 2008年度王座決定戦(中大体育館) 6月7日(土)、8日(日)
<問合せ先>主務 前田雄亮(政経3)
090-7574-9382

稲光会費は現役活動を強くサポートしています

今年の国体は9月、大分県日田市で開催される。来年は新潟県だ。新潟県はその準備のため、昨年12月に開催された全日本選手権(日田市)に3人の視察員を派遣した。遠藤会員はその一人に選ばれて日田市の大会会場にいた。そこで川名宏美監督とバツタリ顔合わせ。こうボヤいたそうである。「新潟は人材不足でしてね。全国規模の大会開催となると、私のようなもので引張り出すよ」。

遠藤 聡一 会員 (昭和58年卒)

首までドブプリ…フェンシング



全日本大会を視察する遠藤会員

今年の新潟は新潟県。そして来年は国体開催。新潟は今、最も多忙な支部となっている。遠藤会員はその中心スタッフの一人だ。「高校の指導は続けますが、準備は追われて、これでは首までドブプリフェンシングです。ちなみに長女は早稲田大学教育学部の自己推薦入試に合格している。乞う、ご期待!」

OBの近況報告



WASEDA CLUB

こんにちは!
ワセダクラブです

4年目を迎えた当クラブですが、目標として「勝跡をたどって下さい。」の一年間の生徒達は各種大会で大活躍。その筆頭が松山恭助くん(小学5年)写真でした。9月の全国少年大会で準優勝。ミニム部門(13歳以下)の日本代表選手の一として初のフランス遠征。2月7日(木)〜10日(日)パリで開催された「マラソンフルール2008」に出場したので

- ◆第8回東日本少年大会 (5月、台東RS)
小学生男子F ①松山恭助
同女子S ②今井良美
同男子S ③松山恭助
中学生男子S ⑤松山大助
◆第20回全国少年大会 (9月、京都)
小学生5〜6年の部
②松山恭助
◆第17回東北少年大会 (9月、福島)
小学生男子 ①松山恭助
同女子 ③今井良美
◆第1回みのわもみりカップ (10月、長野)
小学生男子 ①松山恭助
中学生男子 ②松山大助
小学生男女混合 ①今井勇樹
小学生女子 ①松山恭助
中学生男子 ②松山大助
小学生男女混合 ①松山恭助
②西澤 樹
③今井良美
中学生男女混合 ③松山大助
⑤竹内 愛
③松山大助
②松山大助
①松山大助
②今井良美
⑥西澤 樹